

神戸市会議員



岡田ゆうじ

市会議員団市政報告

真剣勝負！神戸再生宣言！

【岡田ゆうじプロフィール】 ●昭和53年6月25日生まれ  
●慶應義塾大学法学部卒、慶應義塾大学大学院法学研究科修士課程修了  
●国会議員政策担当秘書資格試験に合格 ●参議院議員末松信介政策担当秘書  
●平成29年10月神戸市会議員補欠選挙にて27,279票を得て初当選

2018.7

# No. 9 助けを必要とする方へ

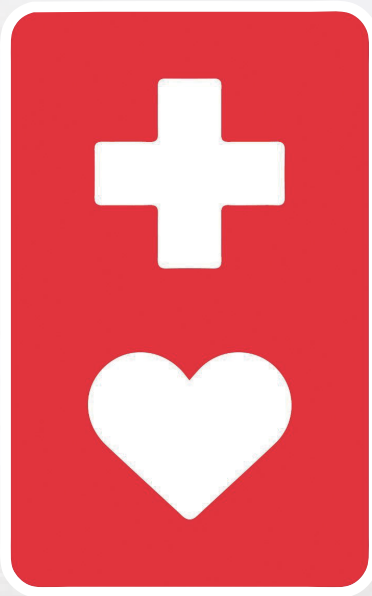
私たちが共に暮らす街中や公共交通機関などで、周囲からの手助けを必要としている方々があります。しかし、義足や人工関節を使用している方、内部障害や難病の方、または妊娠初期の方など、**援助や配慮を必要としていることが外見からは分からない方々**もおられます。

そこで、彼らが援助・配慮を必要としていることを、周囲の人間に知らせる必要があります。そのために考案されたのが、「ヘルプマーク」です。

「ヘルプマーク」について知っていただくことは、配慮を必要とする方が、どのような支援を必要としているのかを知るとともに、彼らの状況を理解するためのきっかけにもなります。配慮を必要とする方も支援者の方も安心して暮らすことのできる、**助け合い社会の実現**こそ重要です。

また同じ趣旨で、緊急連絡先や必要な支援内容などが記載された「ヘルプカード」もあります。これは、障害のある方などが災害時や日常生活の中で困ったときに、周囲に自己の障害への理解や支援を求めるためのものです。

元々は東京都が最初に導入したのですが、神戸市においても、ここ垂水区では垂水区地域自立支援協議会さんなどの熱心な取り組みにより、市内で先駆けて先行配布がな



ヘルプマーク

されていました。

いよいよ全市的に導入が開始されたのは本年3月12日。4月末時点で、ヘルプマークは約2000個、ヘルプカードは約3000枚が配布されています。

現在でも、垂水区役所健康福祉課、たるみ障害者地域生活支援センターの窓口で、希望する方に配布を行っています。



ヘルプカード



神戸市難病団体連絡協議会に参加

このヘルプマーク、ヘルプカードが有効に機能するためには、このマークが何なのか、何を意味しているのかを多くの皆さんに理解していただく必要があります。

6月10日、神戸市難病団体連絡協議会の会議に自民党を代表して出席させていただいた際も、このヘルプマークの周知徹底、及び積極配布についてご要望を頂戴しました。神戸市ではヘルプマークを見たら、皆が自然と支援の手を差し伸べる、そんな将来を実現すべく、微力を尽くして参ります。

## ヘルプマークを身につけている人を見かけたら

### 公共交通機関では、席をお譲りください

外見では健康に見えても、疲れやすかったり、つり革につかまり続けるなどの同じ姿勢を保つことが困難な方がいます。また、外見からは分からないため、優先席に座っていると不審な目で見られ、ストレスを受けることがあります。

### 駅や商業施設等で、声をかけるなどの配慮をお願いします

交通機関の事故等、突発的な出来事に対して臨機応変に対応することが困難な方や、立ち上がる、歩く、階段の昇降などの動作が困難な方がいます。

### マーク等に記載された内容に従って配慮・支援をお願いします

マーク等には「ゆっくり話してほしい」、「体調の急変時には病院に連絡してほしい」など、マーク等を見た方に希望する配慮・援助の内容が記載されています。

### 災害時は、安全に避難するための支援をお願いします

視覚障害者や聴覚障害者等で周辺の状況把握が難しい方、肢体不自由者等で自力での迅速な避難が困難な方がいます。



「垂水区で長生きして良かった」と思える街にしたい

神戸市議員 垂水区 岡田ゆうじ

〒655-0044 神戸市垂水区舞子坂 3-15-9-3F  
TEL: 078-785-5171 / FAX: 078-785-5172

岡田ゆうじ  
ホームページ  
mail@okadayu.ji.net  
www.okadayu.ji.net

